TPP－医療保険制度破壊を許さない！

参院選で改憲勢力に2/3を取らせない為の講演集会

日　時：5月10日（火）午後7より（開場6：30pm）
場　所：ヴェルク横須賀大ホール
講　師：原中勝征さん（前日本医師会会長）
参加費：500円

はらなかかつゆき　１９４０年福島県浪江町生まれ。
１９６６年日本大学医学部卒業。６７年東京大学医学部入局。
１９７７年アメリカ／スローンケタリングがん研究所客員研究員。
１９８０年東京大学医科学研究所内科医局長。１９９０年東京大学助教授。
１９９１年医療法人杏仁会大圃病院理事長／院長。
２００４年茨城県医師会会長。２０１０～１２年日本医師会会長を勤める。
現在ＴＰＰ阻止国民会議代表世話人。

この20年、強欲国際資本が日本市場を狙って様々な制度改悪を政府に迫り、与野党に巣ぐう従属政治屋によって国民の福祉と利益を壊す「日本売り」が加速しています。

日本株を持つ7割以上は外国人投資家。その投資家の為に非正規雇用を増やし国民所得を下げて配当に廻しています。小泉郵政売りにより郵貯、簡保は「民営化」（私有化が正しい）され、簡保は外資のアフラックと組まされ医療保険制度破壊の道に乗りました。

次に狙われているのが農業と巨大市場の医療であり、TPPで絡め取られようとしています。今の国民皆保険制度は敗戦から16年後の1961年に実施されましたが、これは310万人もの犠牲を出した戦争の反省にたった国民の為の医療制度で、これで国民誰もが気兼なく医療を受けられるようになりました（55年前のことです）。

しかしアメリカ（多国籍企業）の保険会社や製薬産業は、日本の医療費を我が物にする為に民主、自公政権にTPP交渉入りを飲ませました。このままでは日本の医療制度は国際資本に乗っ取られ、アメリカのような医療の超格差社会になります。参議院選挙では私達の命と暮らしを危機にさらす安倍政権に2／3分を取らせてはなりません。そのため市民が野党連合を促し、私達の命と暮らしを守る投票行動をこの講演会で考えます。

この講演会は以下の結集と連帯で開催されます。

立憲主義を守るよこすか市民の会　みなみ医療生協　脱原発社会を作る市民の会
革新懇　　TPP交渉差し止め違憲訴訟の会　９条の会（予定）

4／9現在

連絡先　一柳方　Eメール umihiro@bc.mbn.or.jp　**電話**/FAX **046-897-5561**